

全国過疎問題シンポジウム 2013 in ながさき

○問合せ先 まちづくり推進課企画統計係 ☎内線 315

人口減少や高齢化が進む中で、過疎地域の担う役割や意味について議論を深めるとともに、全国の優れた取り組みに触れ、過疎地域に住むことの素晴らしさを都市部の人々へ発信することを目的として、県内5市町において『全国過疎問題シンポジウム 2013 in ながさき』が全体会・分科会の構成で開催されます。

松浦市は、11日（金）の分科会会場となっており、パネルディスカッションや意見交換が行われ、どなたでも自由に参加することができます。

私たちの住むまちの豊富な地域資源の持つ可能性について、全国各地の皆さんと共に考えるきっかけとして、たくさんのご参加をお待ちしています。



分科会（松浦市開催）

【日 時】

10月11日（金）

受付 午前9時30分～

【場 所】

文化会館ゆめホール

【テーマ】

過疎・半島地域の可能性
～地域そのものが資源～

●コーディネーター

公益財団法人
ながさき地域政策研究所 所長
菊森 淳文 氏

●パネリスト

福岡大学工学部准教授
柴田 久 氏
(松浦市景観基本計画策定
委員会座長)

(有) ティーディー・カンパニー
社長 補佐

平 愛子 氏
(松浦市福岡都市圏交流プロ
ジェクトチーム顧問)

一般社団法人
まつうら観光物産協会
井村 裕子 氏

(有) 住徳水産
住徳 一洋 氏

10月10日(木)

全体会【佐世保市：アルカスSASEBO 大ホール】
交流会【佐世保市：アルカスSASEBO イベントホール】

10月11日(金)

分科会【松浦市：松浦市文化会館 / 道の駅「松浦海のふるさと館」】
【平戸市：平戸文化センター / 生月町博物館「島の館」】
【西海市：西彼農村環境改善センター / 雪浦地区「雪浦ウィーク」】
【新上五島町：鯨賓館ホール / 石造りの教会「頭ヶ島天主堂」】



国民健康保険短期人間ドックの追加募集を行います

○問合せ先 健康ほけん課国保係 ☎内線125

【対象者】

以下の条件すべてに当てはまる人

- ・ 10月1日時点で松浦市国民健康保険の被保険者で、平成24年度までの国民健康保険税を完納している人
- ・ 平成26年3月末で40歳～74歳になる人（昭和14年4月1日～昭和49年3月31日生まれの人）
- ・ 平成25年度特定健診をまだ受診していない人

※5月の募集の際にすでに短期人間ドック・脳ドックを申し込みしている人は対象ではありません。

【受付期間】 10月1日（火）～18日（金）

【受付場所】 ※保険証をご持参ください。

健康ほけん課（1階④⑤窓口）・最寄りの支所・出張所

【定員】 70名

※定員を超えた場合は年齢の高い人から優先します。

【検査期間】 11月～平成26年1月

【費用（自己負担額）】 5,000円

【検診機関】 押測病院・菊地病院・武部病院・間宮医院・江藤医院・中央診療所

【検査にかかる時間】 3～4時間

【検査内容】 ※医療機関によって若干異なる場合があります。ご了承ください。

- ・ 特定健康診査：内臓脂肪の蓄積度を診るための腹囲の測定や血糖・脂質・血圧などの検査とともに、問診票を用いて喫煙歴などを調査し、その結果からメタボリックシンドロームの該当者・予備群を診断・判定
- ・ 胸部X線（直接撮影）：肺疾患（肺がん・肺結核・肺気腫など）の有無の検査
- ・ 胃の検査：胃十二指腸潰瘍・胃がんの早期発見のための検査
- ・ ヘリコバクター・ピロリ菌感染検査：胃潰瘍・十二指腸潰瘍・慢性胃炎に関連する胃内感染の有無を検査
- ・ 腹部超音波検査：肝臓・胆のう・腎臓の形態検査、脂肪肝・胆石・胆のうポリープ・腎結石・腫瘍の検出
- ・ 便潜血検査：大腸検査の一次検査
- ・ 肝機能検査：B型肝炎ウイルス抗原、C型肝炎ウイルス抗体測定
- ・ 骨密度測定：骨のカルシウム量を測定し、骨粗しょう症の有無を検査

【オプション】（自己希望の検査項目追加分：費用は本人負担）

- ・ 前立腺検診（中高年男性対象）
前立腺がん腫瘍マーカー測定 1,470円（血液検査で測定しますので特に時間を取ることはありません）

